

上場会社名 代表者 (コード番号 タケダ機械株式会社 代表取締役社長 伊藤 勝信

6150)

問合せ先責任者 (TEL

常務取締役管理部長 池田 千尋 0761-58-8231)

# 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年7月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお 知らせいたします。

記

## ● 業績予想の修正について

平成23年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年6月1日~平成22年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純 利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,200	△57	△47	△51	△5.30
今回発表予想(B)	912	△126	Δ110	△114	△11.77
増減額(B-A)	△288	△69	△63	△63	
増減率(%)	△24.0	_		_	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年5月期第2四半期)	946	△196	△176	△187	△19.46

### 平成23年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年6月1日~平成23年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,630	△33	△28	△37	△3.80
今回発表予想(B)	2,182	△102	△83	△91	△9.34
増減額(B-A)	△448	△69	△55	△54	
増減率(%)	△17.0		_	_	
(ご参考)前期実績 (平成22年5月期)	1,795	△412	△386	△362	△37.59

#### 平成23年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年6月1日~平成22年11月30日)

7					
	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純 利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,150	△32	△17	△21	△2.07
今回発表予想(B)	800	△135	Δ111	△114	△11.28
増減額(B-A)	△350	△103	△94	△93	
増減率(%)	△30.4	_	_	_	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年5月期第2四半期)	912	△137	△119	△132	△13.03

#### 平成23年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年6月1日~平成23年5月31日)

1 Was 1 2 1 Was 1 2 Wa					
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,500	4	19	10	0.98
今回発表予想(B)	2,000	△121	△92	△99	△9.74
増減額(B-A)	△500	△125	Δ111	△109	
増減率(%)	△20.0	_	_	_	
(ご参考)前期実績 (平成22年5月期)	1,705	△326	△298	△304	△29.94

#### 修正の理由

- (1)平成23年5月期第2四半期累計期間連結業績予想(平成22年6月1日~平成22年11月30日)
- 主に個別業績予想修正に伴う修正であります。 (2)平成23年5月期通期連結業績予想(平成22年6月1日~平成23年5月31日) 主に個別業績予想修正に伴う修正であります。

(3)平成23年5月期第2四半期累計期間個別業績予想(平成22年6月1日~平成22年11月30日)

(3)平成23年5月期第2四半期累計期間個別業績予想(平成22年6月1日~平成22年11月30日) 売上高につきましては、当社独自のオリジナル機や客先別仕様機の提案営業を積極的に推進してまいりました結果、期中におきましては成約高は増加しておりますが、客先への納入が第3四半期にずれ込む物件が多く発生したことから売上高は800百万円(前回予想より350百万円減少)となる見込みであります。 営業利益、経常利益につきましては、市場の縮小及びこれに伴うコンペジターとの価格競合の激化により営業粗利率が低迷したことや、賃金カットによる労務費の削減並びに販売費・製造経費等の削減を行いましたが生産量の減少等が要因となり、売上原価の改善とならず、営業利益は135百万円の損失(前回予想は32百万円の損失)、経常利益は111百万円の損失(前回予想は17百万円の損失)となる見込みであります。 四半期純利益につきましては、114百万円の損失(前回予想は21百万円の損失)となる見込みであります。 (4)平成23年5日期通期個別業績予想(平成22年6日1日~平成23年5日31日)

(4)平成23年5月期通期個別業績予想(平成22年6月1日~平成23年5月31日) 通期業績につきましては、当社を取り巻く事業環境は依然として先行き不透明な状況が続くことが予測されており、国内及び海外の新規市場の開拓並びに更なる提案営業の強化を行うものの、第2四半期累計期間の売上高の減少を吸収できない見込みとなり、通期売上高 2,000百万円、営業損失 121百万円、経常損失 92百万円、当期純損失 99百万円に修正 いたします。

3/12-03-7。 ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項 現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は業況変化などにより、業績予想と異なる可能性があります。

以 上